

◆県立広島大学研究開発助成事業

18年度の新規助成

対象研究課題が決定

企画課政策企画係 ☎0824-73-1114

新たに3課題を採択

市では昨年度から、県立広島大学の研究者が行う地域資源を活用した農林業振興や環境保全の研究に対し助成する「県立広島大学研究開発助成事業」を実施し、18年度の新規助成対象研究課題として、表1のとおり3点の課題を採択しました。

この事業は、大学の研究者が所有するシーズ(種)を活用した研究成果を商品化・事業化に結び付け、新たな産業創出による地域活性化を図ることを目的としています。

5月に研究課題を募集したところ10件の提案があり、審査を経て3件の研究課題

を助成対象として決定しました。

今後は、研究に取り組む研究者と連携しながら、研究成果が事業化、地域活性化につながるよう取り組みを進めていきます。

また、平成17年度に採択した5つの研究開発課題は表2のとおりです。このうち、2年間の研究期間を設けた①から④までは現在も研究が進められ、単年度で研究が終了した⑤については、具体的な事業化に向けて協議を進めているところです。

◆表1 平成18年度助成対象研究課題

	研究課題の内容	研究者氏名
①	機能性食品としてのユリの再評価と食用ユリの系統選抜・育種	龍治 英 教授
②	庄原市全域の農村観光資源に関するGIS型データベースの製作	前川俊清 助教授
③	庄原市森林の持続可能な経営確立に向けた制度的・技術的課題及びその適用方法の解明	宮本 誠 教授

◆表2 平成17年度助成対象研究課題

	研究課題の内容	研究者氏名
①	商品的に優れたりんご生産の研究。研究品種を活用したジャム製品の開発	近藤 悟 教授
②	家畜から排出される糞尿の悪臭の除去とメタン発酵の研究。低コストでの糞尿処理技術の開発	森永 力 教授
③	天然鉱物を利用した排水浄化装置を地元企業と共同開発。業務用から家庭用まで幅広い効果を想定	江頭直義 教授
④	庄原地域の農産物の機能性を研究。農産物や加工品の付加価値を高め、健康志向にマッチした庄原ブランドを創出	武藤徳男 教授
⑤	木炭ペレットを活用した発電装置や新たなエンジンシステムによる環境対応型バスの開発	早田保義 教授



4月に行われた中間報告会